

グローバルな時代に生きる — 多様性を知り、自分を知る —

日本大学国際関係学部

学術講演会

2015年12月16日

慶應義塾大学 大学院商学研究科 教授

柏木茂雄

グローバルな時代に生きる

- 1. グローバル化とは何か？**
- 2. グローバル社会の中で押し流されないためには？**
- 3. 「自分を知る」とは何か？**
- 4. 「自分の考えを持つ」とは何か？**
- 5. 何が必要か？**

そもそも「グローバル化」とは何か？

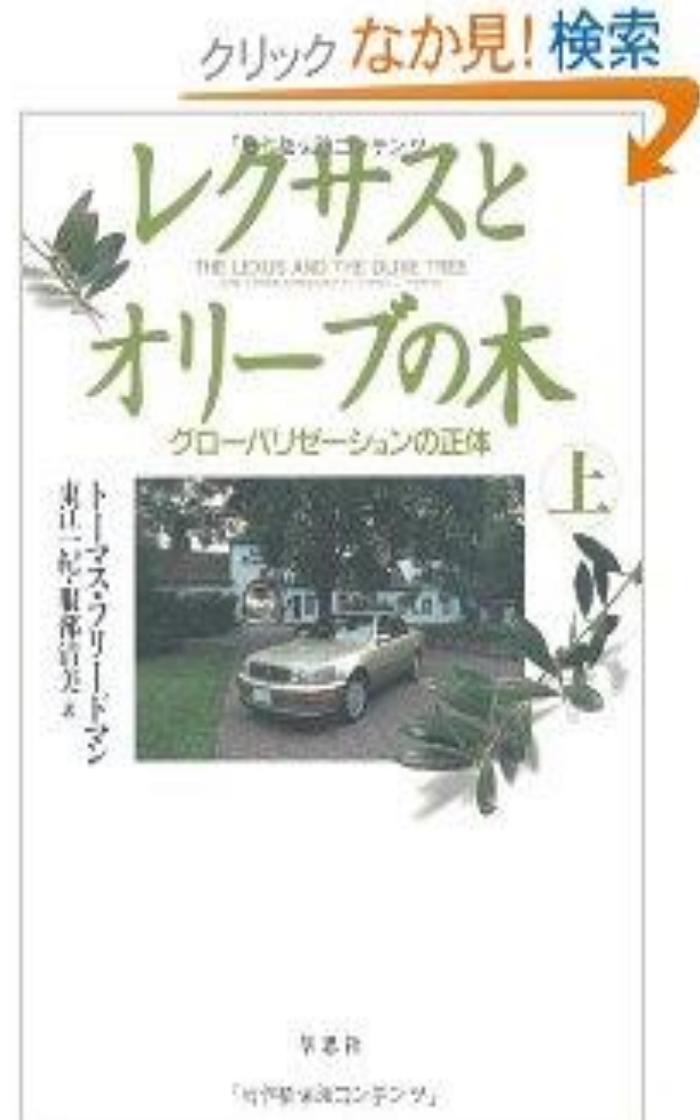
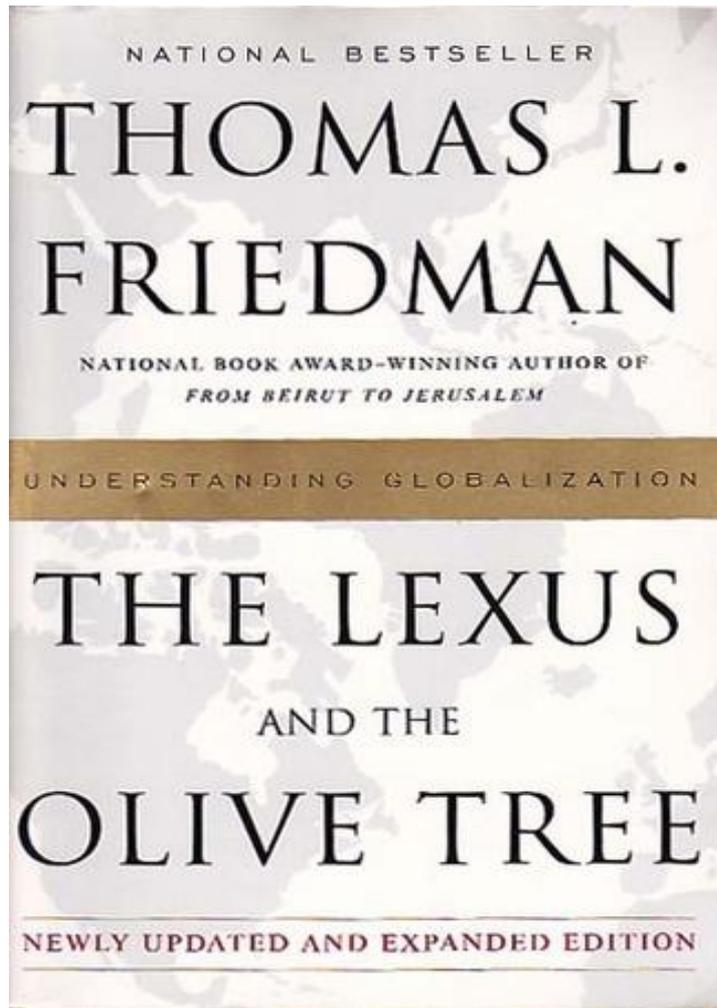
• 「国際化」と「グローバル化」は違う。

• 「グローバル化」した経済では国境を越えた動きが活発になる。

• モノ、サービス、カネ、ヒト、情報、etc.

• 本の題名から「グローバル化」を考える。

「レクサスとオリーブの木」 トーマス・フリードマン 草思社 2000年



グローバル化がもたらす問題

国境を越えた動き

もの、カネ、サービス、人、情報

国境を越えられないもの

規制、行政、国家主権

この二つをどのように両立させるか？

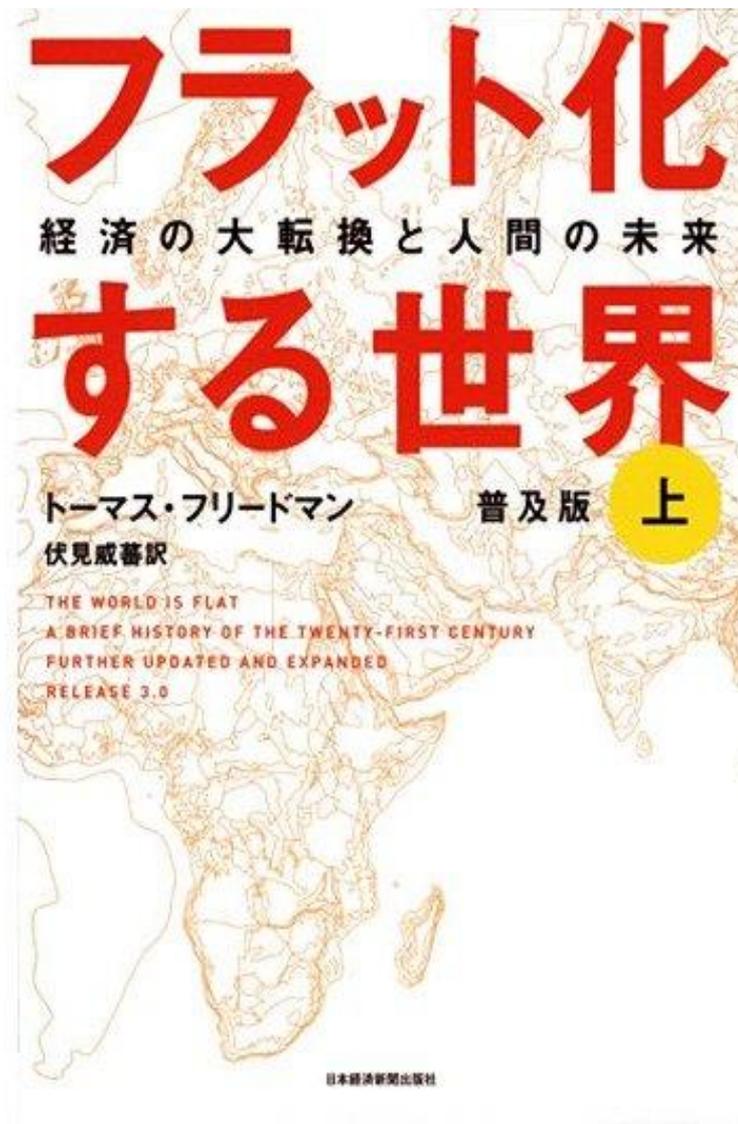
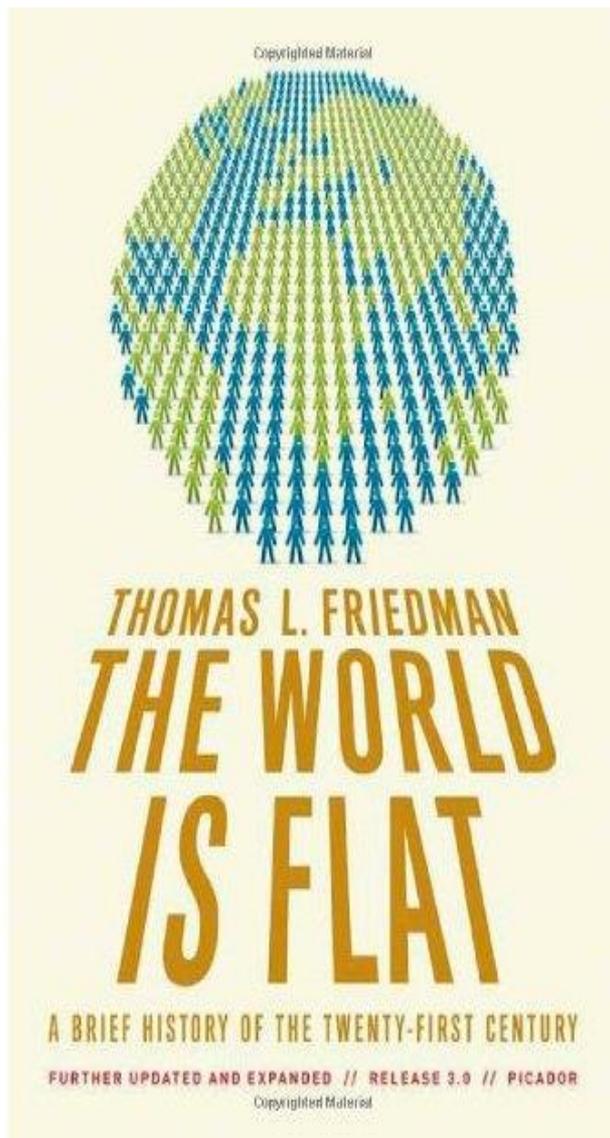
経済のグローバル化が進めば、

国境を超えた競争 / 協調が行われ、

国境を超えた利害調整、
ルール作りが必要となり、

グローバルな「公」のため
の仕事が増える

「フラット化する世界」 トーマス・フリードマン 日本経済新聞社2006年



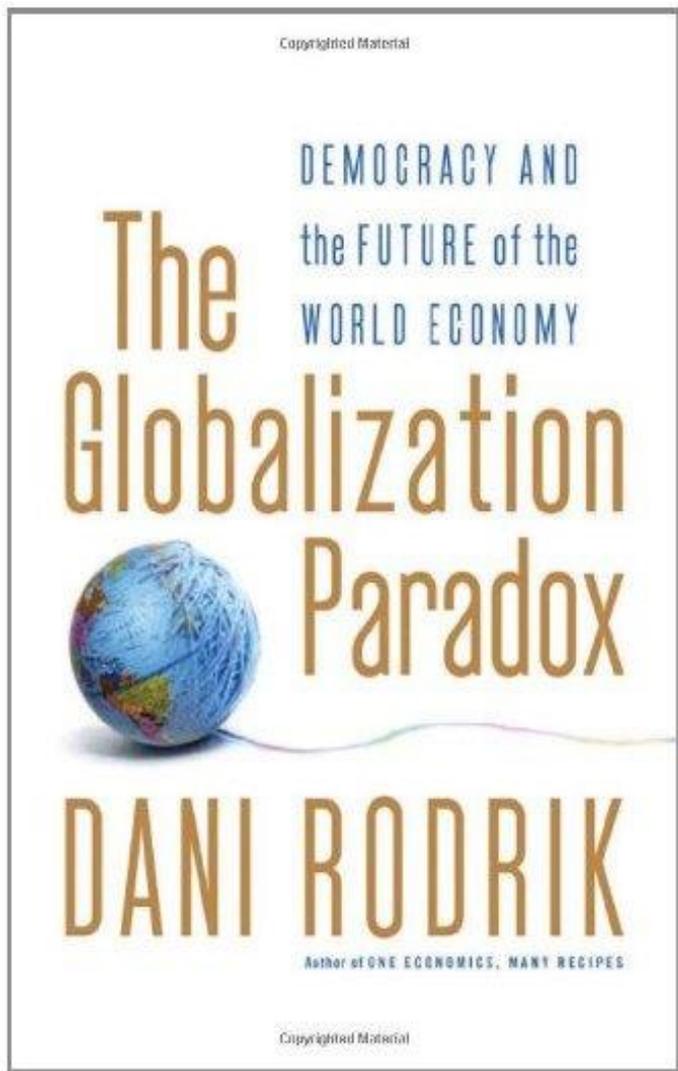
大競争時代

「フラット化」した世界では全ての国が同じ条件で競争することとなる。

国家間、地域間、企業間で、実力を発揮できるものだけが生き残る。

勝ち残るための実力を身に着ける必要がある。

「グローバル化のパラドックス」 ダニ・ロドリック 2011年 白水社



国境・国旗・国歌 をどこまで意識するか？



オリンピック

国家を意識しない働き方



例えば、野球のメジャーリーグ

真のグローバルな職場では、

国家

言語

人種

多様な人
と付き合う

文化

信条

宗教

例えば、国際機関では、



**国際通貨基金(IMF)：加盟国数 188カ国
スタッフ：160カ国から 2600名
(出典) IMFウェブサイト**

「グローバル社会」 = 「海外」 か？

- 日本においても「グローバル」な活躍は必要となる
- 今後、必要なのは「エリート国際派」ではなく「中間層」
- 外国人の上司、同僚、部下と如何にうまく仕事ができるかが課題となる
- 「内なる国際化」が必要

「グローバル人材」とは？

要素1

- **語学力・コミュニケーション能力**

要素2

- **主体性・積極性、チャレンジ精神、
協調性・柔軟性、責任感・使命感**

要素3

- **異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティ**

出所:「グローバル人材育成戦略」
グローバル人材育成推進会議 審議とりまとめ 2012年6月24日

**グローバル社会の中で押し流されない
ためには、**

自分を知り、

自分の意見を持つことが必要

「自分を知る」とは どういうことか？

- **自分で、自分のことをどうやって知るか？**
- **自分で、自分を見て、自分を知ること、おそらく、不可能。**



自分を知るためには何が必要か？



• 他者を通して、自分を知る。



• 異なる考え方と向き合ってみる。



• 例えば、多様な友人を作る、本を読む、海外に行って冒険を試してみる。



• 多様性を知ることにより自分を知る。

**「自分の考えを持つ」とは
どういうことか？**

**クリティカル・シンキング
のすすめ**

“Critical Thinking”

**世の中には
三つのタイプの
「質問」がある。**

タイプ 1

事実関係を聞くものであり、
必ず、ただ一つの「正解」がある。

(例) $2 + 3 = ?$

「明治」の前の年号は何か？

タイプ 2

唯一の「正解」はなく、
多様な答え方が可能。
自分の好み、感覚で答えることが可能

(例) どの本を読むか？
どの音楽を聴くか？
どの映画を見に行くか？

タイプ 3

唯一の正解はなく、
しかし、好み、感覚で答えること
はできない

(例) どうやってデフレ経済から
脱却するか？
低コストで自社製品の売り上げを
増大させる方法は？

学校と実社会の違い

小中学校では、タイプ1の質問を早くかつ正確に答えることが求められてきた。

しかし、実社会で タイプ1の質問を投げかけられることは無い。

逆に、実社会では タイプ3の質問に的確に答えることが求められる。

高等教育の場では

**タイプ1 の質問ではなく、
タイプ3 の質問を答えられるよう**

知識、思考力、分析力を高め、

**自分の考え・判断力を高めること
が求められる**

自分の思考力、
判断力を
高めるために必要
なのが

「クリティカル・
シンキング」



思考力・分析力を高めるためには



読む力・聞く力 が求められる

そのための二つのアプローチ

受動的アプローチ

双方向アプローチ

受動的アプローチ

著者または話し手の
言うことを
そのまま読み・聞く

受け手の分析・判断は
不要



双方向アプローチ



**著者または話し手に対して
質問を投げかけ、
思索を深める。**

**そのことを通して、
受け手自身の考えを深め、
自分の考えを形成する。**

「クリティカル・シンキング」 のために必要なものは？

独立心

Think



論理的思考力

好奇心

謙虚さ

柔軟性

他者との意見交換を 積極的に行おう



pixta.jp - 9148924

討論・意見交換は必ずしも
悪いことではなく、自分の
考えをより良いものにする
ために必要なもの。



「集团的思考」の弊害



「グループ・シンキング」とは？

WHEN ALL **THINK** ALIKE,
THEN NO ONE IS THINKING
-WALTER LIPPMAN-

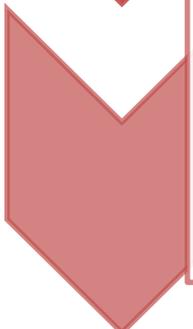


皆が同じように考えるということは、
誰も考えていないということ。

「自分」を伝える



- **自分を知り、自分の考えをまとめ、それを伝えよう。**



- **伝えるべきものがないのに、語学力を磨くのは意味がない！。**



- **自分の考えを他者、第三者に分か
いやすく伝える努力をしてみよう。**

Good Luck !!

ご清聴ありがとうございました。